

定期情報開示

項目	内容																								
(1) 発行者の情報																									
イ) 発行者の名称、所在地及び登録番号	発行者の名称: Aptos Japan株式会社 所在地: 東京都港区芝浦1-1-1 会社法人等番号: 0104-01-151474																								
ロ) 発行者の沿革	当社は、漫画を中心とした電子書籍分野において日本でリードし東京証券取引所に上場している株式会社Link-U と、ブロックチェーン関連分野で豊富な実績を有する株式会社HashPortの2社によるジョイントベンチャーとして、2020年3月2日に設立されました。 設立以降の経緯は以下のとおりであります。 <table><tr><th>年 月</th><th>事 項</th></tr><tr><td>2020年3月</td><td>東京都港区南青山において株式会社Hashpaletteを設立</td></tr><tr><td>2021年3月</td><td>パレットのコンソーシアムブロックチェーンのテストネットをローンチ</td></tr><tr><td>2021年7月</td><td>日本初IEOによる資金調達を実施(PLT)</td></tr><tr><td>2021年8月</td><td>パレットのコンソーシアムブロックチェーンのメインネットをローンチ</td></tr><tr><td>2021年9月</td><td>PLTのステーキング機能の追加</td></tr><tr><td>2021年12月</td><td>HashpaletteからHashPaletteへと社名変更を行い、本社を港区芝へ移転</td></tr><tr><td>2022年1月</td><td>株式会社HashPortが株式会社Link-Uの保有するHashPalette株式の全てを取得し、完全子会社化</td></tr><tr><td>2023年6月</td><td>林孝之が代表取締役CEOに就任</td></tr><tr><td>2023年9月</td><td>本社を港区芝浦へ移転</td></tr><tr><td>2024年2月</td><td>国内5例目となるIEOによる資金調達を実施(ELF)</td></tr><tr><td>2024年10月</td><td>Aptos Labs (Matonee Inc.)が株式会社HashPortの保有するHashPalette株式の全てを取得し、完全子会社化 ムハンマド・シャイフが代表取締役に就任</td></tr></table>	年 月	事 項	2020年3月	東京都港区南青山において株式会社Hashpaletteを設立	2021年3月	パレットのコンソーシアムブロックチェーンのテストネットをローンチ	2021年7月	日本初IEOによる資金調達を実施(PLT)	2021年8月	パレットのコンソーシアムブロックチェーンのメインネットをローンチ	2021年9月	PLTのステーキング機能の追加	2021年12月	HashpaletteからHashPaletteへと社名変更を行い、本社を港区芝へ移転	2022年1月	株式会社HashPortが株式会社Link-Uの保有するHashPalette株式の全てを取得し、完全子会社化	2023年6月	林孝之が代表取締役CEOに就任	2023年9月	本社を港区芝浦へ移転	2024年2月	国内5例目となるIEOによる資金調達を実施(ELF)	2024年10月	Aptos Labs (Matonee Inc.)が株式会社HashPortの保有するHashPalette株式の全てを取得し、完全子会社化 ムハンマド・シャイフが代表取締役に就任
年 月	事 項																								
2020年3月	東京都港区南青山において株式会社Hashpaletteを設立																								
2021年3月	パレットのコンソーシアムブロックチェーンのテストネットをローンチ																								
2021年7月	日本初IEOによる資金調達を実施(PLT)																								
2021年8月	パレットのコンソーシアムブロックチェーンのメインネットをローンチ																								
2021年9月	PLTのステーキング機能の追加																								
2021年12月	HashpaletteからHashPaletteへと社名変更を行い、本社を港区芝へ移転																								
2022年1月	株式会社HashPortが株式会社Link-Uの保有するHashPalette株式の全てを取得し、完全子会社化																								
2023年6月	林孝之が代表取締役CEOに就任																								
2023年9月	本社を港区芝浦へ移転																								
2024年2月	国内5例目となるIEOによる資金調達を実施(ELF)																								
2024年10月	Aptos Labs (Matonee Inc.)が株式会社HashPortの保有するHashPalette株式の全てを取得し、完全子会社化 ムハンマド・シャイフが代表取締役に就任																								

	2025年4月	エイブリー・チンが代表取締役役に就任
	2025年6月	HashPaletteからAptos Japanへと社名を変更

ハ)発行者及びその関係会社が営む主な事業の概要	主な事業概要は以下のとおりであります。 ① Aptos Japan株式会社(当社、発行者) NFT(Non-Fungible Token)を重点領域として、NFT流通に最適化されたブロックチェーンネットワーク「パレットチェーン」を開発。2021年7月には日本初のIEOによる資金調達を実施したPLT(パレットトークン)の発行・流通に加え、独自NFTマーケットプレイス「PLT Place」の運営、ブロックチェーンゲームのパブリッシング等、技術基盤からコンテンツ発信まで一貫したサポートを提供しています。 ②Aptos Labs Meta Platforms, Inc.(旧Facebook)(以下「Meta社」といいます。)のステーブルコインプロジェクト「Libra(リブラ)」「Diem(ディエム)」のチームが独立して2022年10月に設立したLayer1ブロックチェーン企業です。暗号資産を活用した金融・決済領域への深い知見と高性能のチェーンを武器に、主に金融領域において、Microsoft Corporation、SK Telecom Co., Ltd.、Franklin Distributors, LLCなどと提携しています。
--------------------------------	--

ニ) 発行者の役員の氏名及び経歴	当社の役員経歴は以下のとおりであります。 1. エイブリー・チン(代表取締役) ノースウェスタン大学でコンピュータ工学の博士号を取得し、スーパーコンピューティングや高性能ファイルシステムの分野で卓越した専門知識を築き上げました。Aptos Labsの共同創設者兼CEOとして、20年以上にわたり分散技術やブロックチェーン開発に情熱を注いでいます。Meta社ではDiemブロックチェーンの開発を主導し、Move言語やBlockSTMといった革新的な技術の推進に大きく貢献しました。現在はAptos Labsで、次世代分散技術の実現に向けた取り組みをリードしています。 2. アレクサンダー・ミッテンドルフ(取締役) 法務とビジネス開発の分野で豊富な経験を持ち、テクノロジーやブロックチェーン業界で活動してきた専門家。Meta社ではNoviプロジェクトの商業法務チームを率い、ブロックチェーン技術の実用化を法務面からサポート。その後、分散型金融(DeFi)のリスク管理を専門とするGauntlet社で法務責任者を務め、急速に進化する技術分野での課題解決に取り組んできました。現在はAptos Labsの法務責任者を担っています。 3. ジョニー・トン(取締役) 公認会計士(CPA)として、会計、監査、財務管理の分野で幅広い経験を持つ。監査法人では、国内外の企業を対象に財務諸表監査やリスク評価を担当し、内部統制やコンプライアンス強化に貢献。その後、民間企業の財務部門で予算管理、財務戦略の策定、業務プロセスの効率化を推進してきた。Aptos Labsにおいては、財務および戦略分野の役割を担っています。 4. ジェームズ・クオン(監査役) 公認会計士法人KPMG LLPIにてキャリアをスタートし、以降20年以上にわたり財務・会計分野に従事。米国大手企業マケツソン(Fortune 10企業)での財務報告・会計基準対応を経験した後、複数の非公開企業や成長著しいスタートアップ企業において財務・経理業務を統括。直近では、Web3プラットフォームやデジタル資産コンプライアンス企業、ブロックチェーン開発企業などで、財務・会計業務の構築および運営を指揮しています。
-------------------------	--

ホ) 発行者の業績の概要	2026年3月期月次累計(2025年6月末時点)の売上高は26,316千円、経常利益は▲76,441千円、当期純利益は▲76,441千円となりました。																																		
ヘ) 発行者の財務の状況	経営成績及び財政状態の主要な項目は以下のとおりであります。なお、IEO(付随取引含む)の会計処理は暫定処理を行っており、今後の会計基準公表などの動向によっては遡及的に修正される可能性があります。 2026年3月期実績月次累計(2025年6月末時点) <table><tr><td>貸借対照表の概要</td><td>(千円)</td></tr><tr><td colspan="2">【資産の部】</td></tr><tr><td>流動資産</td><td>319,670</td></tr><tr><td>固定資産</td><td>90,911</td></tr><tr><td>繰延資産</td><td>---</td></tr><tr><td>資産合計</td><td>410,582</td></tr><tr><td colspan="2">【負債の部】</td></tr><tr><td>流動負債</td><td>33,695</td></tr><tr><td colspan="2">【純資産の部】</td></tr><tr><td>資本金(※)</td><td>370,000</td></tr><tr><td>利益剰余金等</td><td>6,886</td></tr><tr><td>負債・純資産合計</td><td>410,582</td></tr><tr><td colspan="2">(※)『資本準備金』を含む</td></tr><tr><td>損益計算書の概要</td><td>(千円)</td></tr><tr><td>売上高</td><td>26,316</td></tr><tr><td>経常利益</td><td>▲ 76,441</td></tr><tr><td>当期純利益</td><td>▲ 76,441</td></tr></table>	貸借対照表の概要	(千円)	【資産の部】		流動資産	319,670	固定資産	90,911	繰延資産	---	資産合計	410,582	【負債の部】		流動負債	33,695	【純資産の部】		資本金(※)	370,000	利益剰余金等	6,886	負債・純資産合計	410,582	(※)『資本準備金』を含む		損益計算書の概要	(千円)	売上高	26,316	経常利益	▲ 76,441	当期純利益	▲ 76,441
貸借対照表の概要	(千円)																																		
【資産の部】																																			
流動資産	319,670																																		
固定資産	90,911																																		
繰延資産	---																																		
資産合計	410,582																																		
【負債の部】																																			
流動負債	33,695																																		
【純資産の部】																																			
資本金(※)	370,000																																		
利益剰余金等	6,886																																		
負債・純資産合計	410,582																																		
(※)『資本準備金』を含む																																			
損益計算書の概要	(千円)																																		
売上高	26,316																																		
経常利益	▲ 76,441																																		
当期純利益	▲ 76,441																																		

ト)発行者の社員数、組織及び機関	当社の社員数、機関、及び組織の状況は以下のとおりであります。 2025年8月31日現在 <table><tr><td>社員数</td><td>4名</td></tr><tr><td>機 関</td><td>取締役会設置会社</td></tr><tr><td>組 織</td><td>ゲーム運営2名、エンジニア1名、コーポレート1名</td></tr></table>	社員数	4名	機 関	取締役会設置会社	組 織	ゲーム運営2名、エンジニア1名、コーポレート1名									
社員数	4名															
機 関	取締役会設置会社															
組 織	ゲーム運営2名、エンジニア1名、コーポレート1名															
チ)発行者の株式の状況	当社の発行済株式数は以下のとおりであります。 2025年8月31日現在 <table><tr><td>種 類</td><td>発行数(株)</td></tr><tr><td>普通株式</td><td>37,000</td></tr><tr><td>計</td><td>37,000</td></tr></table> 当社の大株主の状況は以下のとおりであります。 2025年8月31日現在 <table><tr><td>氏名又は名称</td><td>所有株式数(株)</td><td>発行済株式(自己株式除く。)の総数に対する所有株式数の割合</td></tr><tr><td>Aptos Labs (Matonee Inc.)</td><td>37,000</td><td>100%</td></tr><tr><td>計</td><td>37,000</td><td>100%</td></tr></table>	種 類	発行数(株)	普通株式	37,000	計	37,000	氏名又は名称	所有株式数(株)	発行済株式(自己株式除く。)の総数に対する所有株式数の割合	Aptos Labs (Matonee Inc.)	37,000	100%	計	37,000	100%
種 類	発行数(株)															
普通株式	37,000															
計	37,000															
氏名又は名称	所有株式数(株)	発行済株式(自己株式除く。)の総数に対する所有株式数の割合														
Aptos Labs (Matonee Inc.)	37,000	100%														
計	37,000	100%														

	り)発行者のコーポレート・ガバナンスの状況	2021年4月1日付で取締役会設置会社に移行し、定期的に取り締役会を開催しております。また、監査役を設置し取締役の職務執行も対象とした監査役監査を実施しております。
(2) 新規暗号資産の発行及び販売等の状況(追加発行等の状況を含む)		
	当社は、コインチェック株式会社による2021年7月30日付「Palette Tokenの販売結果に関する開示情報」にてお知らせのとおり、2021年7月1日から2021年7月28日を販売期間として国内初となるIEO(Initial Exchange Offering)における新規発行トークンの販売を行いました。販売の概要は以下のとおりであります。	
	新規暗号資産の名称	パレットトークン(PLT)
	新規暗号資産の総発行量	1,000,000,000PLT
	新規暗号資産の販売総量	230,000,000PLT
	新規暗号資産の販売価格	4.05円/PLT
	新規暗号資産の販売総額	931,500,000円(税込)
(3) 発行者及びその関連当事者が保有する新規暗号資産の総量及びその内訳		

当社及び関連会社の保有数量は、2025年8月31日時点で、483,477,160PLTとなります。ステーキング報酬(ステーキング原資を含まない)による増加や、PLT Place1における取引・手数料受取等による増減、関連会社保有分の処分による減少もあり、2025年5月31日以来、合計で8,557,178 PLT増加しました。

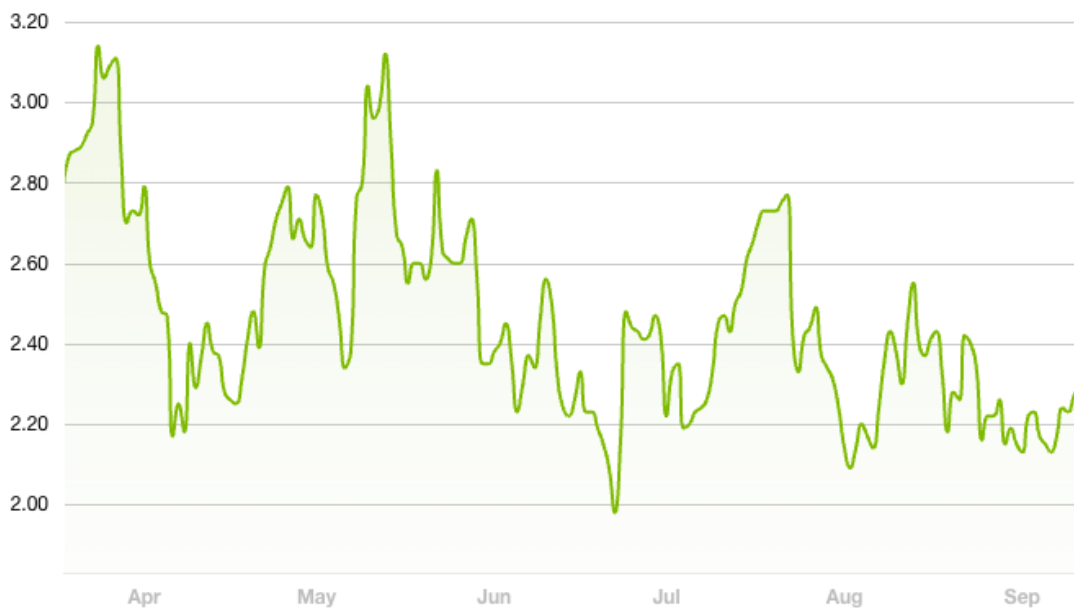
また、当社社員等による保有数量は、2025年8月31日時点で、0 PLTとなります。

(4)新規暗号資産の市場価格の推移

PLTの市場価格の推移は以下の通りであります(前回開示以降の価格推移を中心にお示ししています)。

¥2.29
+2.00%

1H | 24H | 1W | 1M | 1Y | ALL



参照: <https://www.okcoin.jp/currency/plt>

(5) 対象事業の進捗の状況

当社は、2021年7月1日から2021年7月28日を販売期間として国内初となるIEO (Initial Exchange Offering) における新規発行トークンの販売を行いました。

2025年9月30日時点で、パートナー各社とともに、以下のコンテンツ及びサービスに関する発表を行い、実施しております。

- 2024年10月28日にAptos Foundationおよび当社は、PLTからAPTへのトークン交換に関する詳細を発表し、11月26日からオーケーコイン・ジャパン株式会社が運営する暗号資産取引所「OKJ」で交換が始まりました。また、ビットトレード株式会社においても2025年1月23日から2月12日の間に交換を行いました。

(6) 調達資金の全部又は一部を使用した場合には、使用した資金の額等及び使途の内容

IEOにより調達した資金の用途は以下のとおりであります。「Palette White Paper」記載の計画値総額に対して2025年6月30日までの支出額(税込)を記載しております。

2025年6月30日時点

資金用途	計画値 総額 (千円)	支出額 (千円)	使途の内容
パレットgrant プログラム	326,025	326,025	パレットを用いて発行されるNFTのアプリケーション開発支援として使用されました。
マーケティング	260,820	272,112	パレットエコシステムのユーザーの拡大、およびパレットを利用する新規コンテンツの獲得等に使用されました。超過分については、予備費から充当しました。
コントラクター	111,780	152,173	パレットの安定した運用において必要となる、暗号資産交換業者や会計士・弁護士といった外部業者への支払いに使用されました。超過分については、予備費から充当しました。
オペレーション	74,520	181,189	運営スタッフの報酬に使用されました。超過分については、予備費から充当しました。
予備費	158,355	(158,355)	予備費用として使用されました。 括弧内は「マーケティング」「コントラクター」及び「オペレーション」において予備費から充当された金額となっています。また、当該金額については各々の資金使途項目に計上されているため支出額の「合計」には含まれておりません。
合 計	931,500	931,500	